

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.3 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 < 筏(2)地区 >	養父郡 大屋町 筏		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
養父郡 大屋町 筏			H12年度	H15年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 特殊法枠工 L = 130m A = 400m ²	

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家戸数10戸、町道(筏天滝公園線)がある。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 山間部の山裾に立つ住宅に接した豊かな緑は、住環境に安心とゆとりをもたらしているため、保全効果は高い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 小規模な崩土、迂回路の無い町道があり、地元要望が強い。 町の公園計画と合わせた防災対策工事を行う。 過疎対策法地域、山村振興地域に指定されており当該事業による生活環境の改善効果は大きい。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全人家10戸、迂回路の無い町道があり事業効果が高い。 事業実施に向け、法指定や借地の同意を得ている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 法枠工を採用し、枠内は種子吹き付けを行い緑化を図る。 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化を検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全人家10戸、2級町道がある。 近年表土崩壊が発生するなど大規模な斜面崩壊の危険性が高いため早急な防災対策が必要がある。 住民の要望は大変大きく、事業執行体制は整っている。

評価 の 結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
---------------	------	------------------	----------------------